



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所

コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥村 浩士

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営統括本部長

(氏名) 土谷 康彦

TEL 03-3456-0561

四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	3,834	4.6	56	—	23	—	△24	—
27年2月期第2四半期	3,665	4.2	△112	—	△144	—	△132	—

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 △57百万円 (—%) 27年2月期第2四半期 △149百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	△5.58	—
27年2月期第2四半期	△30.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第2四半期	8,828	1,579	17.9	366.48
27年2月期	8,917	1,638	18.4	379.84

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 1,579百万円 27年2月期 1,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,116	9.8	185	—	123	—	29	—	6.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期2Q	4,318,444 株	27年2月期	4,318,444 株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	7,236 株	27年2月期	5,672 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期2Q	4,311,890 株	27年2月期2Q	4,312,772 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、回復ペースはやや鈍化しているものの、引き続き企業収益や雇用情勢、設備投資は堅調に推移し、緩やかな回復基調を維持しております。

海外の経済情勢は、世界的な株価下落等の影響による下振れ懸念はあるものの、米国においては、雇用・所得環境の改善により個人消費は底堅く推移しております。欧州においても、ギリシャ情勢および政治・金融情勢に不安は残るものの、全体的には緩やかな景気回復基調が持続しております。一方、アジア・新興国については、総じて減速傾向にあり、経済成長が一段と鈍化しております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、企画提案型営業を強化すべく、営業および研究の組織体制を見直すとともに、徹底した経費削減にも取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高3,834百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益56百万円(前年同期は営業損失112百万円)、経常利益23百万円(前年同期は経常損失144百万円)、四半期純損失は24百万円(前年同期は四半期純損失132百万円)となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりです。

(日本)

国内の化粧品受託製造市場は、化粧品メーカーによるアウトソーシングの拡大、異業種企業による化粧品市場参入などを背景に、小幅ながら成長をみております。

このような事業環境のもと、当社の化粧品事業は、主にアイシャドウ・チーク類、ライナー・マスカラ類が、前年同期を上回る受注を獲得し、国内および海外からの受注は順調に推移しましたが、前年同期と比較して若干の減収となりました。一方、営業利益については、役員報酬の一部カットをはじめとする、全社あげての経費削減への取り組みを行った結果、前年同期と比較して増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,141百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益は74百万円(前年同期は営業損失11百万円)となりました。

(仏国)

子会社THEPENIER PHARMA INDUSTRIE S.A.S.(以下、テプニエ社という)の所在する欧州経済は、ギリシャ情勢および政治・金融情勢に不安は残るものの、全体的には緩やかな景気回復基調が持続しております。

このような事業環境のもと、テプニエ社では、前年同期と比較して、スキンケア製品、メイクアップ製品が順調であったことに加え、医薬製品の大口受注による増産により、前年同期と比較して大幅な増収となり、営業損失については、損失幅が大幅に縮小いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は745百万円(前年同期比39.1%増)、営業損失は25百万円(前年同期は88百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、88百万円減少し、8,828百万円となりました。総資産の減少は、流動資産が105百万円増加し、固定資産が194百万円減少したことによるものであります。流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が29百万円、たな卸資産が254百万円、その他が26百万円増加し、受取手形及び売掛金が204百万円減少したことによるものであります。固定資産の主な減少要因は、投資有価証券が26百万円増加し、建物及び構築物が129百万円、機械装置及び運搬具が75百万円、投資その他の資産のその他が10百万円減少したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、30百万円減少し、7,248百万円となりました。負債合計の減少は、流動負債が62百万円増加し、固定負債が93百万円減少したことによるものであります。流動負債の主な増加要因は支払手形及び買掛金が151百万円、未払法人税等が34百万円、賞与引当金が55百万円増加し、短期借入金が52百万円、その他が127百万円減少したことによるものであります。固定負債の主な減少要因は、長期借入金が81百万円、退職給付に係る負債が10百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、58百万円減少し、1,579百万円となりました。主な減少要因は、株主資本が、当第2四半期連結累計期間の四半期純損失により24百万円減少し、その他の包括利益累計額が33百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より29百万円増加して643百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、196百万円(前年同期は47百万円の増加)となりました。これは主に、減価償却費193百万円、賞与引当金の増加額55百万円、売上債権の減少額175百万円、仕入債務の増加額154百万円等による増加と、たな卸資産の増加額267百万円、未払金の減少額71百万円、未払消費税等の減少額87百万円等による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、52百万円(前年同期は682百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出47百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、104百万円(前年同期は125百万円の増加)となりました。これは主に、短期借入金の減少額103百万円、リース債務の返済による支出44百万円、セール・アンド・リースバックによる収入55百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年9月29日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益及び純資産に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	755,043	784,221
受取手形及び売掛金	1,671,357	1,466,868
たな卸資産	1,118,194	1,372,214
その他	168,342	195,147
貸倒引当金	△1,791	△1,729
流動資産合計	3,711,145	3,816,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,294,351	2,164,795
機械装置及び運搬具(純額)	642,669	567,325
土地	1,364,138	1,363,506
その他(純額)	101,248	97,993
有形固定資産合計	4,402,407	4,193,620
無形固定資産	255,714	249,830
投資その他の資産		
投資有価証券	298,413	324,657
その他	312,842	302,832
貸倒引当金	△63,228	△59,306
投資その他の資産合計	548,026	568,183
固定資産合計	5,206,149	5,011,634
資産合計	8,917,294	8,828,356
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	973,573	1,125,523
短期借入金	1,932,991	1,880,693
未払法人税等	—	34,350
賞与引当金	51,540	106,975
その他	827,273	700,247
流動負債合計	3,785,379	3,847,790
固定負債		
長期借入金	2,899,477	2,817,558
役員退職慰労引当金	150,090	150,090
退職給付に係る負債	107,666	97,128
その他	336,499	335,823
固定負債合計	3,493,733	3,400,600
負債合計	7,279,112	7,248,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	552,749	552,749
資本剰余金	781,854	781,854
利益剰余金	139,148	115,108
自己株式	△2,150	△2,649
株主資本合計	1,471,602	1,447,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,521	125,725
繰延ヘッジ損益	△879	△370
為替換算調整勘定	63,937	7,548
その他の包括利益累計額合計	166,579	132,903
純資産合計	1,638,182	1,579,965
負債純資産合計	8,917,294	8,828,356

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年3月1日 至平成26年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成27年3月1日 至平成27年8月31日）
売上高	3,665,126	3,834,379
売上原価	3,226,624	3,256,150
売上総利益	438,502	578,229
販売費及び一般管理費	551,190	522,155
営業利益又は営業損失（△）	△112,687	56,074
営業外収益		
受取利息	107	539
受取配当金	4,052	4,622
その他	4,497	5,886
営業外収益合計	8,657	11,048
営業外費用		
支払利息	33,231	43,122
その他	6,934	363
営業外費用合計	40,166	43,485
経常利益又は経常損失（△）	△144,196	23,636
特別利益		
固定資産売却益	—	97
特別利益合計	—	97
特別損失		
固定資産除却損	543	1,888
工場閉鎖損失	—	3,066
和解金	—	15,198
特別損失合計	543	20,153
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△144,739	3,579
法人税、住民税及び事業税	4,231	30,087
法人税等還付税額	△12,618	△13,455
法人税等調整額	△4,256	10,988
法人税等合計	△12,642	27,620
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△132,097	△24,040
四半期純損失（△）	△132,097	△24,040

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△132,097	△24,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,598	22,204
繰延ヘッジ損益	1,019	509
為替換算調整勘定	△30,576	△56,389
その他の包括利益合計	△16,959	△33,675
四半期包括利益	△149,056	△57,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△149,056	△57,716
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△144,739	3,579
減価償却費	192,405	193,907
製品保証引当金の増減額(△は減少)	10,635	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	51,732	55,434
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,274	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△3,601
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,690	3
受取利息及び受取配当金	△4,159	△5,161
支払利息	33,231	43,122
固定資産売却損益(△は益)	—	△97
固定資産除却損	543	1,888
工場閉鎖損失	—	3,066
和解金	—	15,198
売上債権の増減額(△は増加)	△75,347	175,623
たな卸資産の増減額(△は増加)	△246,929	△267,772
仕入債務の増減額(△は減少)	168,185	154,079
未払金の増減額(△は減少)	18,532	△71,538
未払消費税等の増減額(△は減少)	45,920	△87,318
その他	61,749	18,113
小計	118,724	228,528
利息及び配当金の受取額	4,069	4,645
利息の支払額	△35,099	△42,707
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△39,920	6,045
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,773	196,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△251,589	△90,000
定期預金の払戻による収入	172,000	90,000
有形固定資産の取得による支出	△596,431	△47,223
有形固定資産の売却による収入	—	325
無形固定資産の取得による支出	△5,718	△3,971
投資有価証券の取得による支出	△1,210	△1,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	△682,949	△52,082
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,051	△103,215
長期借入れによる収入	525,760	400,000
長期借入金の返済による支出	△412,400	△403,408
社債の償還による支出	△83,200	—
自己株式の取得による支出	—	△499
リース債務の返済による支出	△25,163	△44,863
セール・アンド・リースバックによる収入	43,854	55,456
配当金の支払額	△42,955	△39
その他	△80,475	△8,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	125,471	△104,819
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,661	△9,774
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△512,366	29,836
現金及び現金同等物の期首残高	814,198	613,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	301,831	643,088

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,129,706	535,420	3,665,126	—	3,665,126
セグメント間の内部売上高又は 振替高	55,055	688	55,743	△55,743	—
計	3,184,761	536,108	3,720,870	△55,743	3,665,126
セグメント損失(△)	△11,304	△88,269	△99,574	△13,113	△112,687

(注) 1. セグメント損失の調整額△13,113千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,089,931	744,448	3,834,379	—	3,834,379
セグメント間の内部売上高又は 振替高	51,890	1,368	53,258	△53,258	—
計	3,141,821	745,816	3,887,638	△53,258	3,834,379
セグメント利益又は損失(△)	74,886	△25,286	49,599	6,474	56,074

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額6,474千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。